

機械産業

機械会社がわかる本



『愛知ブランド企業の底チカラ [1]・2』共同通信社 2008, 2018

輸送用機械や各種機械器具始め、様々な分野の特色ある愛知のものづくり企業を多数収録しています。創業時のエピソードや躍進のきっかけ、転機となった開発秘話なども紹介されていて興味深い資料です。

『トヨタ産業技術記念館ガイドブック：改訂版』トヨタ産業技術記念館/編 2018

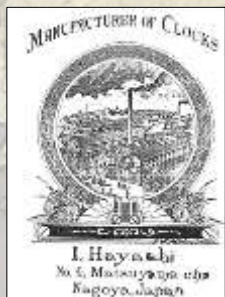
日本の自動車産業をリードする企業トヨタの、機械産業技術の発展の歴史がよくわかる博物館図録。



『図解 DMG 森精機』日刊工業新聞社/編 2014

ヤマザキマザック、ジェイテクト、オークマと共に四大工作機械メーカーの1つに挙げられるDMG森精機を、様々な視点から図解したものの。

機械産業の歴史を感じる本



『Catalogue of Hayashi's Clock Factory』

林時計製造所/編 [明治時代]

掛け時計の国産化に初めて成功した林時計の、海外輸出を意識した商品カタログ。創業者の林市兵衛は、明治24(1891)年に名古屋の松山町(現東区東桜)に、近代的で大規模な工場を建設。当時の名古屋は、東京と並び時計産業の拠点として、特に掛け時計では、国内における最大の生産地でした。



『車両案内』日本車両製造/編 1925

現・日本車輛製造の、戦前の自社製造品の写真集。明治29(1896)年に、愛知郡熱田町(現名古屋市熱田区)で創業し、本店工場を設立して鉄道車両の製造販売を開始しています。同年、同地に創立された鉄道車輛製造所も蒸気機関車の製造を開始しており、近代の名古屋はまさに国内における鉄道車両の生産拠点となっていました。

機械産業の流れがわかる本



『中部の産業：構造変化と企業家たち』安保邦彦/著 清文堂 2008

中部地区に焦点を当てて、その社会や産業界の、近代から現在に至る時代の流れを読み解いた一冊。「ものづくり王国あいち」を築いた企業群の誕生の経緯を知ることができます。

『ロボット産業最前線 2019』産業タイムス社 2018

ロボット市場の動向を概説した上で、様々な種類のロボット関連企業・団体の最新状況を紹介しています。



『民間航空機関連データ集 平成29年度版』日本航空機開発協会 2018

航空機メーカー、航空会社、航空輸送等に関する国内外の統計データを収集しており、航空産業界の最新の現状を把握することができます。

【コラム】愛知の博覧会の歴史

文明開化を象徴する存在として、明治期に博覧会が全国各地で大流行します。愛知では、1874(明治7)年の名古屋博覧会、1910(明治43)年の第十回関西府県連合共進会が有名です。昭和に入ると、産業振興への啓蒙や知識の普及のためから、集客による経済効果を目的とする博覧会へと変化します。1928(昭和3)年には、天皇即位の祝賀のための御大典奉祝名古屋博覧会、1937(昭和12)年には、国際平和を目指す名古屋汎太平洋平和博覧会が開催されています。



『名古屋の博覧会』名古屋市博物館/編 1982



『第十回関西府県聯合共進会 出品陳列 意匠写真帖』名古屋商業会議所 1910



『御大典奉祝名古屋博覧会』1928